

# やすらぎ

平成 21 年 5 月 1 日  
〔第 121 号〕

発行 御所モラロジー事務所 発行責任者 吉田 実  
〒639-2241 奈良県御所市茅原 118-1 TEL/FAX 0745-64-3030 E.mail gose-mc@m5.kcn.ne.jp

## 平成 21 年度事務所総会開催される

当事務所の事業年度は毎年 4 月 1 日に始まり、翌年 3 月 31 日に終わります。事業報告や決算、次年度の計画などが審議される会員総会を、当事務所は定められた通り、資料を作成し定期的きっちりと開催されてきました。

今年も、4 月 12 日(日)19 時より事務所講堂に於いて総会が開催され、31 名が出席(会員総数 99 名、委任状 49 通)しました。

杉村洋さんの司会で開会され、吉田実代表世話人の挨拶(別記)があり議長に山田幸雄さんが選出されました。20 年度の事業経過報告、決算報告。21 年度の活動方針、事業計画、予算案の発表があり、一部その他の項で 21 年度の活動方針や日ごろの活動について質問がありました。原

案通り承認されました。

第 2 部は大 阪住吉モラロ ジー事務所の 梶進参与さん にご講話をい

ただき、「自然は人間に『あげるだけ』で、『貰うだけ』の人間にならないように」と報恩の大切さを教えていただき、その後代議士の奥野信亮さんから「最近の国会報告」と「京奈和道の状況」のお話を聞かせていただきました。

懇親会では柏餅とお菓子をいただき楽しく歓談させていただきました。9 時 30 分予定通り終了しま

した。

上田 均



### 吉田代表世話人挨拶

4月5日地方責任者研修会に、また、昨日は事務担当者研修会に参加してきました。ひごろ、本部の方針などを聞いて来ましたが、今後モラロジー研究所が公益法人になるについては、公益法人に相応しい事業や、きっちりとした会計処理などが義務付けられ大変だと感じています。

また、平成38年はモラロジー研究所の百周年に当たります。これに向かって、毎月わずかずつでも報恩するよう努めています。

本年当事務所では本部主催の維持員研修会を9月18日、19日に予定していますし、中日本センター50周年にあたり記念品も頂いています。本部の受講用教科書もモラロジー概論に新しく変わり、私には少し難しく感じました。年内には概論講座を、出来るだけ多くの皆さんをお誘いして受講したいと思っています。代表世話人として、今年目標に向かって頑張っていきたいと思っています。

### 論文執筆の地 畑毛記念館を訪ねて

4月18日(土)～19日(日)女性クラブ8名で畑毛記念館へ行ってきました。午前8時アザレアホール前をバスで出発。広々とした座席、贅沢な旅です。途中富士川付近では厚い雲のあいだから、富士山の中腹あたりが車窓から眺められ、バスの中



は一段とハイテンションに・・・。

午後4時前川村館長さんや奥さん、職員の方の出迎えを受け畑毛記念館に到着。綺麗に整備された古風な建物が目に飛び込んできました。富岳荘です。

まず、お天気ならば富士山を眺望できる休憩所で、館長奥様から温泉水とお茶・お茶菓子の接待を受けました。温泉水は無臭で実に美味しくチョコレートと合う。広池博士と時を越えて何か伝わってくるものがあり、心が洗われる思いがしました。大きな池のある庭を通過して、永久保存した論文執筆の部屋、富岳荘の見学へ・・・。

富岳荘の門表右側に(友遠方より来る)、左側に(皆自ずから道を得て還る)。建物は質素なものですが、家として一番大事な梁や敷居には良い材料が使われているとか。

最も費用がかかったという、『論文』執筆時の様子を再現した縮尺模型(写真)資料や書物、執筆中の博士の様子、富岳荘より三尺高くなった場所に永久保存された琴景舎(論文を執筆した高橋旅館の離れを譲り受けた部屋)、その横にある学習室を見学した後、館長さんから富岳荘で講話を聞きました。



モラロジーは人の助かる道を書く(論文)総合人間学、心づかいと行い、生涯学習、累代教育、生きがいと喜びの学問、博士を偲ぶ私たちにとって時代を超えて命と魂を打ち込んだご苦労が、教えが、館長さんのお話から大変有難く伝わってくるものがありました。モラロジーの教えを実行したいという意思を固める場として博士の遺志である畑毛記念館訪問の意義、最高道德の真の姿の情熱が伝わり、事務所で行なった伝記の勉強会と重ねあわせ、とてもよい経験をさせていただきました。

今夜の宿は、源泉に最も近く記念館から2、3

分のところにある“つるみ旅館”。博士も入ったであろうお湯で疲れを癒しました。誰かさんは4回も入ったらしい。

翌日は快晴。富士山が裾野から頂上までクッキリ、絵のように。

富士山や箱根山等に降った雨や雪が80日かけて湧き出す、柿田川湧水公園を見学。口に含むとクセ無く美味しい。帰途途中なばなの里で、色とりどりの花に心が華やぎ癒されました。

午後6時30分過ぎ無事帰ってきました。心も身体もリフレッシュ出来ました。今回お世話になった皆さん感謝申し上げます。すばらしい2日間でした。

女性クラブ 杉村 洋

## 中日本センター講座受講感想



今回センター講座を受講させていただき大変、感謝しています。受講するまでは緊張と不安がありましたが、受講し終わった今は、何か成長したような気持ちになりました。

た。

特に報恩。目に見えた恩は解りやすいのですが、目に見えぬ恩を人間は生まれた時から受けており、これを返さなければならないと言う事に気づかせて頂きました。

これを返す為には自分自身の成長。徳を積み、品性を成長させねばならず、このためには今回学んだことを、頭だけではなく行動に移していこうと思います。

まず初めに親を大事に、家庭を大事に、地球を大事に、会社を大事に、色々な事に対し慈悲の心を持って接していこうと思います。

また部屋長初め同部屋の皆様には仲良くして頂き、またセンターの職員様にもお世話になり、そして一緒に受講した皆様にも良くしていただき、講師の皆様にも親身に相談に乗って頂き、

今後の人生において指針となる4日間でありました。

また私の周りでも壁にぶつかっている者がいれば、是非参加を勧めたいと思います。

三光丸配置研修部御所営業所長 奥 忠記

今回このセンター講座を3泊4日で受けさせていただいた事に感謝します。

まず、スタッフの方の笑顔と親切な出迎えを受け、不安な心が吹飛んだ事を思い出しました。



吉村センター長から、

日々の当たり前の生活にありがたみを感じる事を学び、細野講師から「生かされて生きている」認識を深めることと義務の先行を学び、加藤講師からは「自我から自由になるには、自分の考え方を変えなさい。」と教わり、6S活動にも繋がる話しをしていただきました。

「感謝報恩」することの重要性や命の繋がりを学び、それが品性向上の土台になる事を教えていただきました。

仕事や日常生活の中で、良い習慣を軽視せずコツコツ前向きにやっていくこと、相手を変えたければ自分の相手に対する接し方を変えることなどを頭に置き今後の生活や営業活動に役立てていきます。

三光丸配置研修部静岡営業所長 江原 智昭



平成20年度 第17回（通算第17回）中日本生涯学習センター講座 平成21年2月19日（木）～2月22日（日）

今回、初めて3泊4日で、中日本生涯学習センターにて、モラロジ―講習を受講させて頂きました。



毎朝、月刊朝礼を読んでおり、考えさせられる事が多々ありましたが、今回の受講を体感する事で、モラロジ―の奥深さを実感しました。

今までの自分が、普通道徳=利己的な考えだと気づき、モラロジ―は、最高道徳=利他心と言う言葉を初めて聞きました。相手からの見返りを求めず、恩恵を返す、その為に行動を起こすと言う事で、本当に難しい事と実感しました。

今回は、第1章～8章までを学びましたが、全部を理解する事が出来ませんでした。頭から離れないのが、第2章の細野眞子講師の言葉で、「親の価値観が子供の価値観」「子育てが親を育てる」の2つです。子供の前での何気ない言葉、行動がそのまま子供の価値観になると気づかされました。営業所で言えば、社員の前での何気ない自分の言葉、行動が社員の価値観になると気づきました。子供に対し、育ててあげてると言う気持ちがありましたが、逆に親として、大人として子育てを通じ成長させて貰っていると気づきました。

3泊4日で学んだ事が、2つと少ないですが、自分では十分と感じています。教科書を読み返し少し続つても理解し、今後に役立てて行きたいと思います。

三光丸配置研修部四日市営業所長 増山 悟



日々の朝礼で「月間朝礼」を朗読し、感想を思い聞いたりしているにも拘らず、その教えが身体に染み込んでいないことをこの受講で改めて思い知らされました。

その時に感じていることのほんの1つ2つでも実行できているのだろうか？と自問自答して

みると、恥ずかしい限りです。

特に受講の中で感じたことは、「感謝」の心をモラロジ―という道徳からの観点で持つことの難しさでした。これまでは、自分目線で「ありがたいこと」が「感謝」であったと思います。しかし、モラロジ―では、自分が生かされていることに感謝し、自分を変えることで品性を高め、慈悲の心を持つことの大切さと同時に難しさを説かれていたと感じました。

これからの自分自身への課題として

「なぜ?」「どうして?」などの自分の価値観に対してマイナスに働く事は、まず自分自身を振り返り、それでも気付かなければコミュニケーションを図り解消する。

人の良い点を毎日1つは必ず見つけ伝える。

を実践したいと強く感じました。

今年度の目標であります「明るく楽しい職場作り」を達する為にも、まずは自分自身を変えることが一番であり、それには上述しました2点は今の自分にとりまして最も必要なことと感じております。

今回このような機会をお与えいただきまして本当にありがとうございました。

三光丸配置研修部岡山営業所長 西山 肇

初めての受講ということもあり、学習内容について不明な点を多々抱えたままの参加であった。いざ参加してみると、職業・年齢・身分・性別の領域を越えていろんな方々と接することができ、また講師陣にいたっては、笑いあり、感動ありで考えさせられるお話がたくさん聞けて本当に有意義な3泊4日であった。



このセンター講座で学ばさせていただいたことは、「心の学習」(=「心づかい」と「行い」)であった。日々における「心づかい」と「行い」がものの考え方や行動を変え、人生を方向づけて

いくことが分かった。振り返って反省するばかりである。

また、「高い品性」を備えることは、公平で公正な判断ができ、何事に対しても常に建設的に取り組み、すべてを受け容れ、おおらかで安らかな心を持つことができ、周囲に感化を及ぼすことも学べた。まず、この世の中に生かされていることを自覚した上で、いろんな恩恵に感謝する慈悲の心が身に付くよう日々「心のあり方」について見つめたい。

三光丸本店製造係長 中島 宏保

3泊4日の日程で参加させて頂き、勉強する中で日頃日常的に仕事、日常生活の中で知らず知らずに、自我にとらわれて気づかずに過ごしている自分を認識させられ、自我に捕らわれた自分では家族、仲間、お世話になっている人々または御先祖様に対しても感謝報恩の気持ちが薄れている自分に気付かされました。

また色々な方々と共に3泊4日と短い時間ではありましたが、集団生活を送らせて頂いた中でも今後の生活に役立つ事が沢山発見出来ました。

この事も含め今回、勉強させて頂いた件を教訓に、自我を反省して慈悲の心を養い、勉強するだけでなく今後の生活、社会の一員としてに少しでも実践して取り得れるようにしていきたいと思いました。

至誠堂製薬株式会社 小笠原 吉樹

## 歩こう会 額井岳&戒場山

晴天、一緒に出発したもう一台の自動車は、数分後、雲かすみとどこかへと見えない。いつもながら母にはくれた幼児のうろたえをおぼえる。

女性2名を含む総勢7名で、「御所モラロジー歩こう会」が3月29日の朝8時発、今回も開催されていた。行先は、いにしへの小野の榛原の在では、「大和富士」と呼ばれつづけてきた額井岳（ぬかいだけ 標高=816m）と東隣りの戒場山である。

いつもの隊列で何か欠けると思って順に見たら、杉村洋さんがいない。あの人には入会の時からお世話になってきている。今回は、マラソンと植物観察の共通の趣味を持たれている久米ご夫妻が参加され、その二人の会話が時々自然と耳に入ってきた。

かすみをすい、雲にのるといったきびしい高山でなく、ただの里山の登り口に立つとき、いつもどうしてか記憶



にない遠い昔のふところへたち戻って来たようななつかしみが身の内をひたす。この近くの里山にのぼった記憶がない。

飛鳥、藤原の都の裏山で、推古・持統女帝にこの地方の風景を愛され、したしく薬草狩りされている。そして数々の万葉歌人が数多くの万葉歌首を残して来ている。であるからこの辺の文化は案外遺漏なく調べた過去がある。

万葉集に五十首の歌を残した自然歌人の山辺赤人は、「春の野に すみれ摘みにと来し我そ野をなつかしみ 一夜寝にける」たしか、「東の野に かぎろひの立つ見えて かえり見すれば 月傾きぬ」と阿騎野で柿本人麻呂が歌って数十年後、この山裾に赤人が草地を永久の地とした。

里山の頂上から下界は箱庭に見え、天満台・榛原の町並みやその無数のバックの山々は少しかすむ。春の里山の美しさ、愉しさを知って、喜び



を吉井さんを先頭に、必ず最後尾の米田さんの前に雅代さん・均さんご夫妻がいて、尾根道を戒場山へ、そして急斜面を無事戒長寺へおりてくる。

用明天皇(父)が聖徳太子に建てさせた戒場薬師の戒長寺には、「おはつきイチョウ」と12神将を鑄出した逸品の銅鐘が、平安時代後も栄えたなごりを知る。

150段の石段を下りて野に出たら、まだツクシが沢山帯びたところで15分間ほど、「春の野にツクシ摘みにと来し我そ七草のモラロジー袋に入りけり」と迷句を残し、ひる2時の林の中を自動車で行り下った。

トマス・マツムラ

### 運営委員会報告

4月の運営委員会は4月22日(水)午後8時より事務所で開催され、委員11人、オブザーバーとして岡川福弘さんが出席しました。

吉田代表世話人は「平成21年度最初の運営委員会です。心新たに進めていきたいと思ひます。藤本さんから体調が優れないため、副代表世話人を辞退したい旨の申し出がありました。しばらくは、しづかに見守ってあげてください。また、富士俊隆さんが(財)モラロジー研究所社会教育講師に委嘱されました。事務所にとって大変喜ばしいことで、これからの活躍に期待します」と挨拶しました。

#### 報告事項

1. 受講推進担当者会議が開催され、講座受講を促されました。当事務所は10月、11月、平成22年2月のいずれかに10名目標で本部講座集団受講をしたい。詳細は、来月まで持ち越しの審議とする。
2. 4月16日(木)~19日(日)の3泊4日で中日本生涯学習センターの講座を4名で受講してきました。事務所からの受講見舞いをいただき、ありがとうございました。講義内容が大変よかったし、気づきをいただきました。佐藤進氏(佐藤薬品NMC会長)が講師を務めておられました。

#### 審議事項

1. 6月14日(日) 伝統の日、感謝の集い瑞浪会場に参加します。4月29日(水)地区委員会で案内を配布しますので、多数のご参加をお待ちしております。  
 集合時間 / 午前6時  
 集合場所 / 至誠製薬株式会社社員駐車場(御所市南十三)  
 参加費 / 3,000円 不足分は、事務所会計より負担  
 募集参加 / 20名~25名(バスの都合)定員になり次第締め切り  
 申し込み締め切り / 5月12日(火)  
 申し込み先 / 事務所へFAXまたは吉田代表世話人、富士研修委員長
2. 会費(前期分)の徴収について、5月中に総務委員会で領収書を作成して、6月に地区委員が徴収します。
3. 岡川福弘さんがセミナー実行委員長に決定(3月26日準備実行委員会を開催)今後運営委員会に出席する。
4. 副代表世話人交代の件については、代表世話人、副代表世話人、参与で相談。
5. 梶進さんの入会を承認。
6. 事務所旗が、行方不明になっていますので、心当たりのある方は総務委員会備品施設係までご連絡ください。
7. 5月17日(日)事務所清掃の日にクリーンキャンペーン(事務所近辺の清掃奉仕)を行いますので、多数ご参加ください。

#### 編集後記

定額給付金なるものが舞い込んできた。疫病神のよつなもので、即刻、懐から足して、皆に振る舞った。勿論、市内で買い物をして、モラロジーをかじり出した頃、よく「不徳を取ってあげよう」と飲食の費用負担をしたことがある。また、お宅の宗派は、寄付や費用負担が度々ありやすいなど。それでも、昨日、南阪奈道路で高速料金三百円が二百五十円になって、得した思いをしたのはいかんともし難い。

とく